

【第128号 二〇一五年 八月 五日発行】

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイノスきぎモーニング』取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049・230・1111(FAX230・1112)

福音の園® Gospelgarden®は有限会社シヤロンの商標

理念・方針説明

第41回運営推進会議・出席者の声

自分の仕事に自信を持つてみる証だ

県東部の社会福祉協議会に勤めている。二月末からYさんがお世話になってる。最初にお邪魔した時から雰囲気や職員さんの対応などで、実際に感じていることは「情報発信・公開を徹底されている事」。通常何処でも記録を付けているが、それを私なり、家族の方が来たら、「どうぞ、読んで下さい」と。「見せる」と言われれば見せるが進んで見せると云う姿勢にはなっていないもの。ホーム長さんはじめ職員さんが自分の仕事に自信を持っている証しだと思った。情報公開することで、先程の「焚き火」の件で、こちらの職員の方だったら出て行くんじゃないかなと感じた。職員同士でも「S君も救われたネ」と言う評価があり、それは拝見してホーム長さんもお二人を評価しておられる。そういった一連の流れが、皆さんがされている施設の安心へとつながって

いる。お話しを伺って感じた。(入居者 成年後見人)

【4.23開催 5.1提出済・運営推進会議報告書より転載】

お便り紹介

○拝啓 「福音の園だより」を、いつもお送り頂き有難う御座います。

欠かさず拝見させて頂いて居ります。

今回(注・第125号)の内容には、とても

考えさせられました。すぐに警察に通報してしまい

そうになる、自身の日々の振る舞いに反省させられました。

○青葉の風薫るさわやかな季節でございます。

毎日毎日、姉のことでは大変お世話様になっております。この度、福音の園だより第125号の内容で、大きく感動した事柄がございました。お礼申し上げます。心から嬉しく、ペン

を執らせていただきました。

ホーム長様の文面の中で、「入居者K」として登場していた私の姉ですが、「傾聴

ボランティアとして協働下さった」とご紹介いただき、その場面で取っていた姉の仕草に、昔から体全体で愛情を表現してくれる、その傾向の強い姉達の中

でも際立っていた姉らしさが、文面から鮮明に伝わってきて、感動で思わずうなずいておりました。

現在残っている能力の中で、この時一〇〇%姉らしさを発揮させていただけたのではないかと、この「起用(?!?)」に、心より感謝申し上げるばかりです。

貴ホームの理念である「心に触れる優しい支援の実践」を常としておられる中、人々それぞれを幸せな方向に導かれておられると、心より敬意を表します。

これからも姉のこと宜しくお願い致します。毎号の福音の園だよりの心洗われる内容に、感動する心を持って、毎日の介護に対し感謝する心を持って、福

音の園様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

まずは御礼まで。 I・Y様

○福音の園だよりのご送付、ありがとうございます。

「10年勤続10名」、「10年間心の病気0名」の偉業ににつきましては改めて感嘆いたしました。

(感嘆というよりは感服いたしました。)

不可能を可能にする皆様のご尽力に頭が下がる思いです。 S・C様

理念・方針説明 運営推進会議を通して

民生委員さんは「地域のプロ」だ!

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

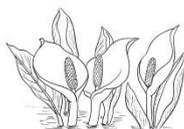
二ヶ月毎に開催している運営推進会議。「焚き火」が話題になった四月の開催時、地域の民生委員さんから

「朝、登校時に小学生の登校指導をしている。三月の年度末、ちよつと気になる子が来ないので反対の方まで遠回りした。すると、中学生が学校と反対方向へ歩いて

いた。六年間かかわった子なので名前も知っている子。(中略) 中学校へ電話し、その対応と照らし合わせながら『焚き火』の件を伺った。(中略) 約300世帯を担当しているが、心の中で老いを受け入れることに

葛藤があったり、不安があったりする人のメンタル的なケアが必要な時代がやって来ていると感じている。」に強く響心した。顔も名前も知っている「地域密着型

の元祖」は民生委員さんだった、と再認識した瞬間。「地域密着型施設」で「介護のプロ」を目指している一人ではあったが、他市から通勤していて地域の事はわかっていないに等しかった。本当は「地域のプロ」である民生委員さんあつての「地域密着型施設運営」を心掛けなければならなかった、と管理者魂が「深耕」させられる「第41回 運営推進会議」だった。



御礼

全員研修会 講演「グリーフケア（悲嘆のケア） 研修」

医社 広彩会 ひろせくりニッケ院長 廣瀬哲也様（川越市）